

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 4月 15日

## 381 無線通信機

調査者氏名 三川 淳

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガナ	(現地公用語) Satellite Earth Station	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 衛星中継地上局	(女) 人	派遣予定 年 月
	(どちらでも可) 人	受入期限 <u>56</u> 年 <u>2</u> 月迄に現地到着のこと	

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Post & Telecom. Corp

(日本語): 郵電公社

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 ( )

所在地: Accra 主要都市からの距離 約20キロ

ハ. 事業規模及び内容:

現在、ガナ全土から、世界の諸国へ、衛星中継地上局を建設中。

55年12月竣工の予定

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

○ 同国のコンサルタント会社の監督のもとに、ガナの企業が世界の諸国のもとに衛星通信地上局を建設中である。

○ 衛星通信地上局に使用される機器(ガナ製)の管理・保守業務に参画する。

○ 衛星通信ガナ国技術がある。又同国のコンサルタントの経験がある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

(衛星通信地上局の経験が4年以上ある)

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和57年 1月13日

332 電子計算機

調査者氏名 大芝敏明・原原松樹

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
TUNISIA	(現地公用語) Informatique et autres travaux pratiques (Ordinateur)	(男) 1人	訓練開始 昭和57年 4月
	(日本語) 電子計算機 (広義)	(女) 0人	派遣予定 " 57年 8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語): *Ministère des transports et des communications*  
 (日本語): 運輸通信省

□. 隊員勤務先名称: *Ecole des Postes et des Télécommunications* 日本語名称 (郵便電信通信学校)  
 所在地: *Route de Racued Ariana, Tunis* 主要都市からの距離 (Tunisより4キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 運輸通信省の幹部技術取組養成学校である(設立1972年)。現在郵便(300名) 郵便(150名) 情報管理(150名)の3学科を有し、それぞれが、4年制、2年制、1年制のコースに分かっている。隊員は情報管理学科において電算機について教えることとなる。

ニ. 設備概要: 現在のところ本校には電子計算機は1台もない。理論講義用の教室がある。今のところ、実習はTunis大学工学部の計算機で行っている。最近本省が導入した電子交換器用計算機

**(2) 隊員の業務内容:**

- ① 地位: 本校の教員 (Enseignement) であると同時に研究開発要員
- ② 技術範囲: ソフトウェア、ハードウェアをふくめた電子計算機一般。"電子計算機とは何ぞや"と教えることから将来本校に導入される計算機の助言まで幅広い知識と特に Cobol, Fortran を使ったプログラムの実践的知識が要求され、Analyst に相当する基本的な情報工学の知識が必要である。
- ③ 業務の形態: 日本の3年制教師と同じく、連続に教える、研究、計画、指導助産等であるが、それぞれは校内に実物の計算機がないことである。会社における実習指導に同歩することになる。
- ④ 対象者及びカウラー: 対象者はバカリア(大学の卒業生)に合格後、公務員として採用され本校に入校している者である。日本とバカリア合格者は当国では大卒のエリートである。カウラーは先方は居ると言っているが、まずそれは信頼できないので、隊員が到着1年以内にはわからない。
- ⑤ 機材: 現在借用しているTunis大学には、MITRA 125, ILIS 50。本省には MITRA 225 がある。
- ⑥ 外国籍: 国連等から専門家(1人)が来ているが非常に流動的なので、隊員到着時は不明。
- ⑦ 使用する言語: フランス語。学生は高校において数学、物理等全てフランス語で教育を受けて来ているので、フランス語ができれば問題は無い。逆にそれ以外の隊員のフランス語レベルに依存するので、それ以外の場合は隊員自身の技術レベルも低くしなければならないことになり、初代隊員だけのフランス語の Needs は非常に高い。

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:** 当国で考えている協力とは、実利と現実主義に基づくものであり、日本側が考えている理想主義、との間に大きな差がある。学生の面でも教官の技術レベルが低いことに対する不満が強く、この点でも期待される。また学校側としても、安易な外資の外国人技術者として、隊員への期待は大きい。同時に機材が何もない本校にとっては、隊員が来ることに限りなくマイクロコンピュータぐらいはJOCV予算で済んでいるので、その期待は大きい。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

- ◎ 大学卒: できれば大学院修了者 (本校の4年制コースは大学と同様の扱いなので) フランス語の上で電子計算機の理論等を教授し指導できることが望ましいが、少なくとも1年後はそれができる語学的セレス、勉強する意欲を有すること。
- Tunisia人と職として働くだけの気力とバイタリティーがあること。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57年 1月 18日

333 視聴覚機器

調査者氏名 藤 登 洋

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
スリランカ	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 57年 4月
	AUDIO-VISUAL	(女) 人	派遣予定 57年 8月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
視聴覚機器			

**(1) 配 属 先**

1. 配属先名称 (現地公用語): LANKA JATIKA SARVODAYA SHRAMADANA SANGAMAYA  
 (日本語): サルボヂヤ

ロ. 隊員勤務先名称: } 配属先名称に同じ。 日本語名称 ( )  
 所在地: } ムラトワ 主要都市からの距離 (コロンボより約20キロ)

ハ. 事業規模及び内容: サルボヂヤは1958年に活動を同世代の民間のボランティア団体であり、地方一般民衆の生活をいかにして向上させよという目的のもとに各種の教育、生活活動を行っており、現在約5000人のスタッフにより約2000の村で活動している。年間予算約300万ル(1981年)

ニ. 設備概要: 1982年3月にコネスコからビデオ=ユニット U-MATIC一式が寄贈されることになっている。その他音響機器等あり。各地巡回のための専用車あり。

**(2) 隊員の業務内容:**

- ① 隊員の業務上の地位: 特定することは困難であるが、強いて記せば、U-MATICの取扱責任者。
- ② 技術の範囲: U-MATICによる取材、編集、放映等全ての業務及び音声機器の保守管理。特に受入機内では編集作業に最も大きな期待をよせている。
- ③ 業務の形態: ④上記②の業務を実施しつつ現地人スタッフの養成を行う。
- ④ カンパニー等: カンパニーは隊員赴任時に決定されることになり、現在サルボヂヤでは、テコローギー等の取材を有するが、それらの経験者の中から指名されると思われる。
- ⑤ 機材等: V= U-MATIC一式
- ⑥ オ=国人等: 本分野については、例、農業、地域開発等で、UNV約15名(1981年8月)より他北米諸国からのボランティアも活動中。更に日本ルバーボランティアスからのボランティアが短期間滞在(通常3ヶ月程度)することあり。
- ⑦ 使用言語: シンハラ語及び英語

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:**

1982年3月にコネスコからビデオ=ユニット一式が寄贈されることになっているが、これを知りた教師は不在で、この機材を有効に利用し、サルボヂヤの広報活動を円滑にするために大きな期待が寄せられている。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

学歴不同、経験1年程度欲しいと云う下であり、実際に業務遂行可能であればよい。

① 隊員の資質について特に重要視し、サルボヂヤの基本的活動理念は、いかに自分の欲求をおき、他人の為に奉仕するよかという点に置かれており、困難な条件の中でも自分の欲求をおき、活動する強い精神力が要求される。例、サルボヂヤの施設の中での飲酒は不可。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

333 視聴覚機器

記入昭和 57年 3月 2日

調査者氏名 吉村正秀

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
PNG	(現地公用語) Audio-Video TECHNICIAN	(男) 1人	訓練開始 57年 10月
	(日本語) 視聴覚機器	(女) 人	派遣予定 58年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): DEPARTMENT OF POLICE  
(日本語): 警察官

ロ. 隊員勤務先名称: BOMANA POLICE TRAINING COLLEGE (日本語名称: ボマナ警察訓練大学)  
所在地: BOMANA 主要都市からの距離 (市外16キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 警察  
PNGの唯一の訓練学校  
教官の数 100名以上

ニ. 設備概要: 別添

(2) 隊員の業務内容:

隊員は PNGの唯一のボマナ警察訓練大学に配置され、視聴覚機器の保守・操作及びビデオカメラ(3台)の指導にあたる。ビデオ機器、語学訓練ラボの保守・操作、ビデオカメラの操作等 ON THE JOB TRAINING (企業内訓練) 方式にて、

地方に在る。機器の保守・操作と指導にあたるため、3ヶ月、3ヶ月、2ヶ月と出張することもある。

勤務時間は AM 7:45 から PM 4:06 まで、土日は休み。  
ボマナ市。1名1人が勤務しており、使用言語は英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ボマナ警察訓練大学に RESEARCH CENTER が昨年新設され、その中で分散していた訓練用機材、施設も統合し、新機軸で運営する。VTR、カメラ、印刷等各部門の整備に力を入れ、隊員がその必要請願も、期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒、視聴覚機器の経験最低3年を要する。  
(ボマナ MANAGER と協議により、大学卒業年数にこだわることなく、高校レベル以上、経験豊かなものも可)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

1001  
古田

記入 昭和55年 10月 18日

300 電話交換機

調査者氏名 中野 隆子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガーナ 共和国	(現地公用語) Telephone Exchanger	(男) / 人	訓練開始 55年 10月
	(日本語) 電話交換機	(女) 人	派遣予定 56年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Postal Telecom Corp.  
(日本語): 郵電公社 (電報電話局)

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 ( )

所在地: ACCRA 市 主要都市からの距離 略

ハ. 事業規模及び内容: 日本の電々公社及び国際電々と同様の組織でガーナ国内の電報電話の全業務を行っている。  
クロスバー交換機 2台。

ニ. 設備概要: 電子交換機 (日立製) が 56年度中に導入される。

(2) 隊員の業務内容:

- ・ X-bar 交換機 (現在2ヶ所で使用中) の保守 要請に従事し、ガーナ人技師への指導もする。
- ・ 56年度中に導入が予定されている電子交換機 (日立製) の操作、整備、保守、管理 の指導。
- ・ 外国人の配置状況: 1980. 2月 01. 駐通信協カドク 技師長 (電気部門) 石塚 春夫 氏が ライト 工事 指導 のため 従事。 1980. 12月 帰国 の予定 (東京 TEL 562-2221、電々公社のOB)
- ・ 使用する言語は: 英語及び現地語 (英語習得の2ヶ)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当国の通信機構及び設備は貧弱であり、今後、拡充に力を入れている。技術者の不足も事実である。隊員は保守、管理だけでなく、技術指導、地方出張の可能性あり。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

実務経験 3年以上 が 妥当。 別削、実直な隊員が良い、技術力の高い人物が 1ヶかり いる 為。

・ 現地職員と共に学ぶという姿勢が必要。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

361 電話線路

記入昭和 55 年 4 月 16 日

調査者氏名 平川 潔 氏

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガーナ 共和国	(現地公用語) Underground Cable	(男) 1 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 地下ケーブル(電話)	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56 年 2 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Post & Telecom Corp.  
(日本語): 郵電公社 電報電話局

2. 隊員勤務先名称: ACCRA 同上 日本語名称 ( 郵便局 )  
所在地: ACCRA 市内 主要都市からの距離 ( 約 15 キロ )

3. 事業規模及び内容: 日本の電々公社と同様の組織で、ガーナ国内の電報電話の全業務を行っている。  
外国との電話は中継機で 1 週間ほどないと通話出来ないのである。1980.12 月迄宇宙中継の工事が完成予定につき、その後、電話交通は可能である

4. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: 長 M.T. Dabrah, Director of Engineering (E.T.S) MR. Nana Bawuah.

・ 隊員のカラータート: Chief Engineer MR J. OKLU (女)

・ 電話地下ケーブルの新設及び整備、保守、点検、補修等が任務である。隊員の能力をみたうえで、専門的業務につけられる場合がある。(地オブレテ勤ムに成り可能有り)

・ 外国人の配置状況: 1980.2 月迄、日本通信協会の技師長(電報部門)石塚春夫氏がカラータート工事のアドバイザーとして業務している。本年度中に帰国の予定 (郵の Tel. 462-2221, 電々公社の OB)

・ 使用する言語は 英語及び現地語 (英語習得の必要)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現在、現地上局の建設中につき、機械はカナダ製、コンクリートは、日本通信協会の協力で行っている。日本の技術士高く評価したため、隊員に要請が大きいと思料あり。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 実務経験 3 年以上が妥当、明朗正直

(素直)な隊員が良い。技術よりも人物を最優先に考えていただきたい。  
現地職員と共に働く姿勢が必要

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 9 月 日

350 テレックス

調査者氏名 新田 麻子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) TELEX	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) テレックス	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 7 月 迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Transport & Communications  
(日本語): 運輸通信省 Post & Telecommunication Department
- ロ. 隊員勤務先名称: Telegrapho Wankalap 日本語名称 ( )  
所在地: ナライ IT 主要都市からの距離 ( ) 以上 ( ) キロ
- ハ. 事業規模及び内容:  
マラウイに在る電信(電報・テレックス)部門の総括。
- ニ. 設備概要: TELEX用クロスバー交換機(最大収容 520), VFT(搬送電信装置) 全22機 収容 24CH, TELEX(2機種 GNT, ITT) 約40台

(2) 隊員の業務内容:

- 業務上の地位: Technical Officer
- 技術の範囲: ① テレックス用交換機(クロスバー・スイッチ)の保守  
② VFTの保守  
③ テレックスの保守  
上記①~③のすべてで30%の要請がある。②は必須。①②はどちらか一方の技術が好ましい。
- プロジェクト: 高率。20~26才。Post officeに入社後、約1年の訓練コース終了後にこの電気に関する基本的な事は習得している。
- 予備員: なし
- 言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

森保率隊員の交代。同隊員の現業務は上記③の外であるが配属先では①②の業務も新たに期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

①実務経験 3年以上

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54年 11月 22日

382 送 信 機

調査者氏名 駒澤 彰夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
タンザニア	(現地公用語) (Radio Transmission) Broadcasting Engineer	(男) / 人	訓練開始 55年 6月
	(日本語) ラジオ送信機	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 55年 10月 受入期限 月迄に現地到着のこと

**(1) 配 属 先**

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Information, Broadcasting & Television  
(日本語): (ザンジバル) 情報放送省
2. 隊員勤務先名称: Transmitting Station 日本語名称 (ラジオ送信所)  
所在地: Zanzibar 主要都市からの距離 (より キロ)
3. 事業規模及び内容: スタジオと送信所は3km程離れた分離型  
ラジオ局は約100名のスタッフ内送信所関係は10名の現地人スタッフ。  
短波 10KW 周波数 3339 KHZ, 中波 2.5KW 584 KHZ
4. 設備概要: 機器は英国 Radifon 製

**(2) 隊員の業務内容: 送信所をエンジニアとして現地エンジニア、シニアエンジニア、テクニシャンへのアドバイス、指導をすると共に実際に自分で保守・管理にもあたります。**

- ① 地位 エンジニア
- ② 技術範囲 ラジオ送信関係 (スタジオも含む) すべり
- ③ 形態 上記のとおり (機構図参照)
- ④ カウンターパート等 エンジニア…… プライマリ・スクール卒 1年4年西ドイツ1年留学  
シニアエンジニア (3人) …… 同上 経験15年位 50~55才 40才  
テクニシャン (6人) …… プライマリ・スクール卒 現地電気技術学校卒  
30才前後
- ⑤ 機 械 電界強度計, シンクロスコープ, シグナルジェネレーター,  
オーディオ送信器, 周波数計
- ⑥ 専門家等 なし
- ⑦ 言語 スワヒリ語 (技術専門用語は英語)

放送時間 (月~土) A.M 6:00~8:00, P.M 2:00~4:30, P.M 6:30~11:00  
(日) A.M 10:00~ P.M 2:00, P.M 5:30~11:00

現地スタッフによる交替システムで業務にあたっている。

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:**

放送網の確保と充実がザンジバルにとって最も重要な課題であるが、施設・スタッフともまだまだ不十分で問題点も多い。特に送信機後のスタッフの技術向上に協力隊員の継続派遣を切望している。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

○ 大卒 経験 2~3年

知識的レベルとして2級無線技術士程度が必要。  
英語 (特に専門用語) が話せればはるベター。



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年9月4日

360 建設機械

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Heavy Equipment Operation	(男) 1 人	訓練開始 57年4月
	(日本語) 建設機械(操作)	(女) 人	派遣予定 57年8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Construction Manpower Development Foundation  
(日本語): 建設人材開発協会

2. 隊員勤務先名称: Construction Manpower Development Foundation (本部はマニラ)  
日本語名称 ( )

所在地: 未確定、地方都市のうちどこか1か所 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 同 Foundation は工業省下の建設工業技術の下部組織としてつくられたばかりである。同 Foundation は建設(アグリコル)関係の熟練労働者育成のため約25万人を年間目標として訓練中である。

4. 設備概要: 実際の訓練は全国各地の既存の設備施設を用いて実施する。しかし必要工具・材料等は C.M.D.F. が提供する。

(2) 隊員の業務内容: C.M.D.F. は建設関連のみに特化して訓練を行う。訓練

は9部門ある。このうち建設機械操作が持つ。C.M.D.F. の本部はマニラにあるが、隊員が実際に仕事をするのは地方である。現在のところどこどこというように場所は明確になっていない。しかし既存の設備施設を利用するので M.Y.C. (青少年職業訓練) のような全国に事務所・訓練所を持つ機関とのタイアップが考えられている。

隊員のカウンターパートは同職種種の職業訓練教官である。通常の隊員の業務は同職種種の ① training module の作成 ② 機器等の操作デモンストレーション ③ 訓練教官の補佐として働く ④ 訓練生(21才〜45才まで)を直接指導する ⑤ 訓練教官に代わって場合訓練終了後の評価を行うことである。

1回の訓練期間は4ヶ月で1982年4〜5月からスタートの予定である。訓練生の数は実際に開設される場所によって異なるが数十から数百になる。

技術: 次に記すような建設機械の効率的な使用法および安全操作について指導する。建設関係機械 → フォルダー、シヨベル、クレーン、クレーン、ロータリークリーン、セメントミキサー、エアコンプレッサー、タンクカー等 (できる限り多くのこれらの機械を持ったところのある人が望ましい)。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: フィリピンに於いても工業分野での熟練労働者の供給は急務の事柄である。当国ではこれを達成するため各種職業訓練の充実に力を入れていく。このような各職種職業訓練の一つとして、特に建設関係でしかも青少年は分けて熟練労働者を含めた成人の職業訓練を行おうとしているもので期待は大きいものがある。(ちなみに訓練生には生活補助金も支給される)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で明記のこと):

学歴は同レベルだが、実務経験を有するに必要条件である。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

360 建設機械

記入昭和 56 年 4 月 17 日

~~330 建設機械~~

調査者氏名 谷川 幸志雄

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア (マラッカ)	(現地公用語) Mechanical Engineering	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 建設機械	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Department, Sarawak  
 1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Communication and Works Public Works  
 (日本語): 公共事業省  
 2. 隊員勤務先名称: P.W.D. Central Mechanical Workshop (中央建設機械工場)  
 所在地: Tanah Puteh, Kuching 主要都市からの距離 (Kuching 市内)  
 3. 事業規模及び内容: DID (Drainage Irrigation Dept.), Agriculture Dept. Marine Dept. を使用しては自動車及び建設機械の分解修理などをしている。(別紙参照)  
 同7-78227の140セグメントトレイコースから構成されたトラック数は約160台あり。  
 4. 設備概要: 自動車及び建設機械のオーバーホールに必要な材料及び工具、塗装、塗料、油、油圧油、必要は材料はほとんど揃っており、整備は良い。

- (2) 隊員の業務内容:
- ① 業務上の地位: トレイオフicer (トレイインストラクター)
  - ② 仕事の範囲: Major Overhaul (エンジンの車体などを分解、組立、修理) から
  - ③ 業務形態: Minor Repair (一般的に修理) を行う。  
 具体的には、機械の構造、作用、調整方法などを修理、整備を行う。  
 ・ 各々のエンジンの場合、オーバーホールは対象は請負と実際に担当する。  
 ・ PWDの持ち出しの沿った持ち出しの準備が済んでいるか、講師の来日変更可能な教科書は1冊、必要材料は2セグメントの借り出しが可能。  
 ・ 対象者の年齢は約19才~26才まで、修理経験のある者が多い。  
 ・ 期間は約1週間半、訓練が終了すると各プロジェクト(PWD)に所属する。  
 ・ 併せて、各プロジェクトに巡回指導も行う。
  - ④ 給与・パート: 給与は準備されている。EVR=41772222、77=21172222の協同組合の必要中心高年米程度は、経験は豊富、日本の修理工と技術的に差は少ない者も居る。
  - ⑤ 材料: 小松D355, D155, D85, D75, D65, D30, 490's-D8, D6, D4, 541 FL140, FL200 (300) 日産 Draglines, 2台-Excavators, 小松GD500 Graders, 2台、必要は材料は揃っている。
  - ⑥ 言語: 英語 ⑦ 派遣期間の予定: 5/1 後大坪博隆氏

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:  
 近年 P.W.D. は上記日本製の自動車建設機械を大量に使用していると同時に、これらの機械の保守修理の業務も増加してきている。これに対応するため、実務経験のある技術者を望んでいる。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
- ① 建設機械自作の学業を終了資格を併せて実務経験3~5年ある者
  - ② 三級整備士 (カマド又はジョーセル) 相当の資格を有する者

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

330 建設機械

記入昭和 55 年 4 月 22 日

調査者氏名 石川 満男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語) Construction Machinery	(男) / 人	訓練開始 --- 年 月
	(日本語) 建設機械	(女) / 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Higher Education  
(日本語): 高等教育省

2. 隊員勤務先名称: The Jomo Kenyatta college of 日本語名称 (注モケニヤツ農工大学  
所在地: Agriculture & Technology 主要都市からの距離 (首都より 35 キロ)

3. 事業規模及び内容: 我国の無償資金協力(約 48 億円)及び技術協力に基づき  
新設される四年制大学 農学部 3 学科 (園芸・農業工学・食品加工)、  
工学部 3 学科 (機械工学・土木建築・電気) 学生数 720 名、教職員 120 名  
4. 設備概要: 建物、内部設備、教機、機材共規模を同じくする我  
国の大学と同じ水準のものを整備している。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 大学教員 工学部機械工学科
- ② Construction Machinery 及び Heavy Earth Moving Equipment に関する全般的理論と応用技術について
- ③ ケニア人・日本人専門家と全く同様に大学一教員として専門科目を担当
- ④ 学生は K.C.E 以上 (11 年以上)、年令 18 年以上 (Kenya certificate of Education 小学校 7 年中学校 4 年卒業)
- ⑤ 本邦より贈送した機材 (約 11 億円) を使用出来る
- ⑥ ケニア人教職員 80 名、日本人専門家 22 名
- ⑦ 英語 (講義を全て英語で行うに特に英語に堪能である事が望ましい)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニア政府は第 4 次経済開発 5 年計画で国内に必要の中堅技術者の深刻な不足を痛感し、これに対処するため職業技能訓練に重点を置いた教育制度の改革を行って来た。本学はその頂点にある。今後ケニア人の技術者養成及び社会への供給を担う事が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 短期大学 (機械工学科) 卒業以上 (但し専門学校を含む)

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

360 建設機械

記入 昭和 56 年 9 月 日

調査者氏名 新田 教子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	PLANT MECHANIC	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
建設機械			

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語): *The Office of President & Cabinet*  
 (日本語): 大統領府

ロ. 隊員勤務先名称: *irrigation Branch* 日本語名称 (灌溉局)  
 所在地: *リロング* 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農業道は Xカマフ 各地合計して約 30 名。車輛台数は本部で約 20 台。各拠点を含めると 100 台。(トラクター、ホトバイ、建設機械)

ニ. 設備概要: 工場は車輛修理に入る予定。カレシマ葉中型 1 台。マウントリール型 1 台。グラインダー 1 台。溶接機 (電気ガス) 各 1 台。部品庫 手持工具等。

**(2) 隊員の業務内容:**

工場の監督として修理から車輛の管理、スタッフの管理。時には地方の現場への出張もある。

・業務上の地位: *Mechanical Supervisor*

・キャリア・パート: 19 人と 8 人の小卒。Foreman の高卒で一般修理は 10 人で済ませる。

・利用可能な機械: ほとんどを完備している。

・米国人: 他に JCCV 隊員 (自動車整備) 1 名

・言語: 英語

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:** 印南一雄隊員の交代

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

1. 高卒以上
2. ディーゼル (ガソリン) の整備士
3. 実務経験 3 年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 4 月 日

建設機械

調査者氏名 新田 慶子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) Plant Mechanic	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 建設機械	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 7 年 4 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Works & Supplies  
(日本語): 工業補給省

ロ. 隊員勤務先名称: P. V. H. O. 日本語名称 (重機車輛賃貸局)  
所在地: 未定 (現隊はリフランドに勤務し、主要都市からの距離 (より キロ) 転勤予定)

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要: 一般車輛 50 台 建設機械 50 台。工場備品、工具不備。スペアパーツの入手困難。コンプレッサ、溶接機、ガス切断機、ゲートシフト、サビ防止剤

(2) 隊員の業務内容:

・業務上の地位: Mechanical Supervisor

・技術の範囲: 一般車輛、建設機械の故障修理、メンテナンスサービスの指示管理

・業務の形態: フォールドでは故障修理、サービスを行う。ワークショップでは車検、中程度の修理の監督を行う。部品、工具の手配。問題処理。

・キャリアパート: 中卒。30~40才。基礎知識不十分。不慣れによる失敗が多い。

・言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:  
福田 建隊員の交替。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
1. 専門学校卒以上。 2. 実務経験 3 年以上。 3. 二級整備士



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 10 月 30 日

366 織 機

調査者氏名 中野 勝彦

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガーナ国	(現地公用語) TEXTILE	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 織物機械	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 文部省 技術職業教育局 課: MR SAN AGGREY  
 1. 配属先名称 (現地公用語): TEMA TECHNICAL INSTITUTE (SCHOOL)  
 (日本語): TEMA 技術学校 校長 MR PHILIP QUACO (1980.9月着任)  
 2. 隊員勤務先名称: 〃 日本語名称 ( )  
 所在地: TEMA 市 主要都市からの距離 (TEMA 市から 〃 キロ)  
 3. 事業規模及び内容: 1967年に創立、教師 25名、生徒数 128名 (3部門)  
 ① 織物コース (3科) 25名 (2クラス) ~ 教師 10名 長: MRS RECLIXIA (昨年に着任)  
 ② 縫製コース (〃) 25名 (2クラス) ~ 〃 3名 + JOCV (1980.11.1着任)  
 ③ 洋裁コース (〃) 28名 (2クラス) ~ 〃 6名  
 4. 設備概要: 生徒の年齢 18~25歳、日本からの援助によりスズキ織物機が15台あり、故障 (部品切れ) のため動いていないのは教台、他に原料がないことである。

(2) 隊員の業務内容:  
 ① 隊員の業務上の地位:  
 学校の中の一人の教師、校長及び部長の指示を受ける。  
 ② 技術範囲:  
 基礎から指導する (理論と技術が要求された) コースが3年間であるので高学年は高度の技術が要求される。  
 ③ 対象者及カテゴリー・パートの技術水準、年齢:  
 生徒 25名 平均年齢 19歳、  
 カテゴリー・パート: 校長及び同僚教師、MR RECLIXIA 知覚して日本に来て教則研修を受けている、日本語も話せる。  
 ④ 現地で利用できる機械:  
 織機は日本製スズキ、ほとんど部品がないように見受けられたので機修が必要 (着任後リストアップに依頼可能)  
 ⑤ 使用する語は:  
 英語で授業する。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:  
 約10年前に日本からの援助で織物プロジェクトがスタートし、日本からの専門家数名が指導にあたり、現地人に引継ぎされた。しかしその後、故障及び原料の調達等から徐々に縮小して来た。3年前から入隊希望があったようであるが応募者がなく、現在に至っている。西側先進国の期待度は大である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
 人格が良ければ良い、英語経験は2年以上、おとなしいタイプより明るい方がよい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 1月 6日

370 船舶機関

調査者氏名 山本嘉秀 (Yamamoto Takahiko)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア	(現地公用語) مهندس ميكانيك بحري	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 船舶機関	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 80年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): المؤسسة العامة للأسماك فرع السيد البصري  
 (日本語): 農業農地改革省 水産公団 ラタキア支所
2. 隊員勤務先名称: 水産公団 ラタキア支所 (日本語名称)
- 所在地: ラタキア市内 主要都市からの距離 (ラタキア市内)
3. 事業規模及び内容: 水産公団唯一の海面漁業支所にて 80トン漁船三隻が配属され運用されている。

4. 設備概要: 80トン漁船 (360 HP) 3隻 20hp 小型船 6隻

(2) 隊員の業務内容:

隊員の業務上の地位

支所に配属され必要とされる際は乗船する。陸上では支所スタッフ 海上では機関長待遇となる。一般には専門家業務と考えればよい。

技術の範囲

日本における同規模船 100~250トン級の漁船の機関長と同様もしくは準ずる技術が要求される。具体的には主機、発電機、ポンプ類、冷凍機、舵機、油圧ポンプ、パワーブローワックの修理保守、ガス切断、電気溶接技術等航海計器等の弱電機器及び設置されている中、強電機器の故障修理技術。

コンピューターパート 現状ではなし

他国専門家 いない

使用する言語 乗船時 アラビア語 シリア方言のみ 支所においては英語使用も可である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

シリア国においても、又当水産公団においても船舶機関技術に関し、豊富な経験技術を有する者がいるため、当隊員の派遣は要望されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

水産高校 機関科 専攻科卒の場合乗船履歴5年以上  
 商船大学 商船高専・水産大学校 機関科卒の場合乗船履歴3年以上  
 海技免状 乙種機関長・甲種二等機関士以上



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

340 船舶機関

記入昭和 54 年 11 月 25 日

調査者氏名 平川 潔

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガ - ナ	(現地公用語) Out-Board Engine	(男) 1 人	訓練開始 55 年 4 月
	(日本語) 船外機	(女) 人	派遣予定 55 年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 55 年 8 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): National Vocational Trains Institute

(日本語): 国立職業訓練所

ロ. 隊員勤務先名称: Winneba-Fishermas Corporation 日本語名称 ( )

所在地: ライバ

主要都市からの距離 (アスより 70キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

漁民約 1000 名, 船 200 隻のカヌー, 船外機 30 台の組合が  
ある。

ニ. 設備概要: 現在全く設備はない。

(2) 隊員の業務内容:

① NVTI の指導の管理

② ライバ漁民組合の船外機 (25HP ~ 40HP: 日本製 YAMAHA  
製) の操作指導, 保守, 交換, 整備, 修理を行うと同時に  
カヌー・レポートの普及とワークショップの整備に当る。  
又 組合管理やスパーパーツ管理等も行う。

協カ隊として全く新しく推進するプロジェクトであるので  
プロジェクトの立案, 実施等を行う。

③ 協カ隊員 (漁業) 1 名が 54 年 10 月より, 現地で漁民組  
織及び漁業技術指導等に活動中

④ 使用言語は英語が主, 現地言語 (ワルバ語) の修得が赴任後  
は望まれる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ガナ沿岸漁業の伝統は西アフリカで No.1 の漁業技術である  
漁に対する関心は非常に高い。船外機等の知識が全くない。船外機  
の故障は多く, 漁獲量に大きく影響を及ぼしている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 船外機 (ヤマハ製) の整備, 修理が出来る事

漁業に興味があれば, 車両整備の知識経験があれば可  
(但し 船外機の研修は必ず受ける)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 10 月 15 日

375 航 海 術

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
Bangladesh	(現地公用語) Navigation	(男) 1 人	訓練開始 57 年 4 月
	(日本語) 375 航海術	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 57 年 8 月 受入期限 57 年 10 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Fisheries Development Corporation (BFDC)  
(日本語): 高水産省 漁業開発公社

ロ. 隊員勤務先名称: Marine Fisheries Training Centre 日本語名称 ( 漁業訓練所 )  
所在地: Chittagore 主要都市からの距離 (4,950 米)

ハ. 事業規模及び内容: 漁業訓練所は 4 つの漁港内に 1973 年に創立され、航海、機関、漁撈、水産加工、冷凍検査、通信及び電気科を有し、年平均 50~70 名の学生を教育している。校長の下、バングラ人 7 名、隊員 1 名の訓練スタッフがいる。

ニ. 設備概要: 創立と同時にソ連援助により、各科にソ連製検査器が、他少額のデンマーク製日本製検査器が設置されている。事務所、訓練施設、宿舎完備。

(2) 隊員の業務内容: 航海科の教官としてバングラ人 1 名とともに航海法、航海計器、船舶工学、海軍法規等を担当し、計器を用いたの授業 (実習) を行う。

i) 業務上の地位: 校長下の教官

ii) 技術の範囲: 将来 漁船に乗組む 準士官の育成が目的のため、日本の水産高校で指導可能な程度の知識及び経験。

iii) 業務の形態: 航海科は 2 年制のコースで、週 6 日午前 8 時半から 50 分単位で 6 時間行われる授業のうち、各学生 20 名前後の学生に対し 1 日 4~5 時間程度を担当する。また、修業年限のうち 15 月ある海上実習の助言も行う。

iv) 対象者及びカウンターパート: 学生は 12 年間の教育を終了して入学者資格と持っているが、ほとんど航海術については初めて学ぶ。カウンターパートは本校の卒業生で知識はあるが実践に役立つよう系統的に指導する能力に欠けている。又、バングラ人専門家、船医からも専門的な質問を受けるのでそれに答えられるだけの知識が必要。

v) 現地で利用できる機材: コンパス、レーダー、方位測定機、六分儀、プロセッサ等約 50 種類のソ連製の機材がほぼ完備している。

vi) 取場における外国人: セラー、教師は JOCV 1 名のみ。隣接するプロジェクト内にはフェロー 10 数名、日本人専門員 2 名がいる。

vii) 使用する言語: バングラ語、英語も必要

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 漁業、漁業の重要性についての認識が高まり、漁業従事者の育成に力を入れ始めたが、航海士部門の指導、教育者の絶対的不足により、受入希望が日増した。前回の通り外国人専門家も多く、施設、機材も援助で成り立ち、JOCV もその一環として認識され、期待は大きい。同時に先輩、現隊員の実績が高く評価されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

短大程度以上の船舶、漁業関係学校卒業後 1 年以上の海技従事経験者、海技免状 (乙長程度) を持つれば可。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和57年 / 月 / 日

380 自動車整備

調査者氏名 栗原政氏 和泉 守

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
インドネシア	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Automobile Instructor	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語) 自動車整備	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture  
(日本語): 農林省

ロ. 隊員勤務先名称: Central Garage (日本語名称 (中央修理工場))  
所在地: Adabo Area (主要都市からの距離 (より7キロ))

ハ. 事業規模及び内容: 政府の整備工場では最大級であり、自動車の保有台数も最も多い。整備士の数名、トヨタランドクルーザー、ランドローバー、日産パトロール、鈴木185cc、ヤマハ175cc etc のメンテナンス

ニ. 設備概要: エンジンショップ、エレクトリックショップ、ボデーショップ、モーターサイクルショップ、シートショップ等がある。トヨタランドクルーザーの部品在庫はおよそ国内車である。

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の地位: Instructor

2. 技術の範囲: トレーニングセンターに於て、整備士助手、電気整備士助手及びオートバイ整備士に対する教育を行っている。深い知識及び技術が要求される。又訓練内容の充実、新知識、技術の導入、各種実習用教材の製作が必要

3. 業務の形態: Instructor として二語人員に対する教育

4. 対象者、カウンターパート: 20~45才、整備士及び助手、学歴は無学(文盲)~大卒、英語を話せる人は大卒者及びごく一部合計16数名のみ、トレーニングセンターに一人助手あり。(大学在学中)

5. 現地で利用出来る機械: 殆んどなし

6. 才了国人等: なし

7. 使用する言語: アムハラック (トレーニングセンターでは、アムハラックを使用して整備技術を教えている。英語は必要無いが、出来ればそれと似た事は無い)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 交替要請 (栗原政氏 55/1, 和泉 守 55/2)

隊員の経歴的派遣により、整備士のグレードアップが計れる。現在は工場内の人員を対象に教育を行っているが、将来は外部者に対しては教育を行う計画である。外人がアムハラックで教育を行っているのは当工場だけであり、並国政府として深い関心と期待を持っている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 2年制の整備学校卒業で2級ガソリン整備士の資格を有している事
- ② 実務経験は最低3年以上
- ③ ヤマハに於てオートバイの整備講習を受けようとする事
- ④ 電気知識を有している事

# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 9 月 9 日

380 自動車整備

調査者氏名 豊田 一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語)	(男) 2 人	訓練開始 56年4月
	(日本語)	(女) 1 人	派遣予定 56年9月
	AUTOMOBILE MAINTENANCE 自動車整備	(どちらでも可) 3 人	受入期限 56年12月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF TRANSPORT & COMMUNICATION MINISTRY OF LABOUR MINISTRY OF HOME AFFAIRS

(日本語): 運輸通信省、労働省、内務省

2. 隊員勤務先名称: 運輸通信省 1名 日本語名称 ( )  
 所在地: 労働省 2名 主要都市からの距離 ( ) キロ

3. 事業規模及び内容: 労働省 1名

運輸通信省の場合 北東部の道路用車輦の整備工場、労働省の場合 地方の刑務所内務省の場合 ナイロビの刑務所内の車輦整備工場、車輦整備工場に勤務している。

4. 設備概要: 運輸通信省以外はすべて程々で資料は整備している。

**(2) 隊員の業務内容:**

運輸通信省の場合 ソマリアの国境の工場の整備作業に就くことになり (54.2) の交際要員であり、程々の生活を送ることになる。車輦に自動車だけでなく、建設用機械の整備技術が必要になる。

労働省の場合、ナイロビの大規模な (53.1) の下位の労働者 (54.1) の交際要員に予定されているが新規となる可能性も若干ある。とくに車輦整備の青年の技術訓練に就くことが業務になる。保健師 (54.1) の交際要員である。

内務省の場合、ナイロビの刑務所内のワークショップに刑務所内務省の車輦整備に就くことになる。技術者の養成に就くことが業務内容になる。

雇用する言語は英語である。

機械は劣化しているもので大体物っているものと見て差し支えない。

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:**

自動車整備士の不足から優秀な日本の若手士を求めたいのが運輸通信省である。労働省の場合 地方の青年と技能を交流させることと就かせたいのが担いでいる。内務省の場合 地方に就かせたい。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

(自動車整備士) であること。学歴は向かいが、英語の力がある程度必要。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 9 月 10 日

350 自動車整備

調査者氏名

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語)	(男) <u>2</u> 人	訓練開始 <u>      </u> 年 <u>      </u> 月
	(日本語)	(女) <u>      </u> 人	派遣予定 <u>      </u> 年 <u>      </u> 月
	オートバイ整備	(どちらでも可) <u>2</u> 人	受入期限 <u>56</u> 年 <u>1</u> 月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture & Natural Resources  
 (日本語): 農業天然資源省
- ロ. 隊員勤務先名称: Agricultural Development Division 日本語名称 (        )  
 所在地: Blantyre, MZU, Kasungu, Limbe 主要都市からの距離 (        より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容:

**ニ. 設備概要:**

**(2) 隊員の業務内容:**

- 。業務内容: 1. ADD 保有、オートバイ整備    2. スパアパーツの発注管理  
3. 現地メカニック、及び車手への保守整備の指導
- 。技術・範囲: 100cc 程度のオートバイに関する技術研修は必要。期間 10~14 日。  
研修重点事項 = スパアール・ホールの使用法。
- 。業務形態: 工場整備、現場整備
- 。カンパニー: なし
- 。利用可能な機材: 手工具
- 。使用言語: 英語 ナエツ語

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規要請**

上記の地域は ADD の地。現在 Kalungu, Salima, Ngochi, Mulungwe に同種の隊員が配属されている。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

- ① 高卒以上    ② カンパニー級整備士
- ③ 自動車整備士として経験 3 年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和57年3月 日

380 自動車整備

調査者氏名 長倉 孝

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) Automobile Mechanic	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 自動車整備	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 58年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Housing & Community Development  
(日本語): 住宅社会開発省

ロ. 隊員勤務先名称: Makawi Housing Corporation 日本語名称 (マラウイ住宅公社)  
所在地: Lilongwe 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

マラウイにおける一般住宅の設計・施工を主とし、住宅の供給及び管を行なっている。隊員は同公社で使用している車輛の整備・点検を行なうワークショップに配属となる。  
ニ. 設備概要: ワークショップはピット1、一般修理工具、テスター等

(2) 隊員の業務内容: 公車保有の車輛の一般整備、定期点検及び車検を行なう上での技術的なアドバイス。Workshop (整備工場) の管理。

・業務上の地位: Mechanical Supervisor

・カンパニート等: マラウイでの一級整備資格を有するメカニック (日本における三級整備士程度の知識を有す) を高卒、年齢30才前半の者が多い。

・オミコト人: 2人

・使用可能言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

54/3 岩崎隊員の交代。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 2級カンリト整備士
- ② 実務経験 3年以上

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57 年 9 月 日

320 自動車整備

調査者氏名 長 倉 孝

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語)	(男) 2 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	自動車整備	(どちらでも可) 人	受入期限 59 年 4 月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語): *Ministry of Forest & Natural Resources*  
 (日本語): 森林資源省

ロ. 隊員勤務先名称: *Viphya Pulpwood Project* 日本語名称 ( )  
 所在地: *Mzimba* 主要都市からの距離 (約) 210 キロ

ハ. 事業規模及び内容: マラウイ国内で最大規模の森林プロジェクト。Chikangawa 周辺に植林している森林の管理・調査。又農場、牧場の経営。近く採業に入り製材所の管理。

ニ. 設備概要: Workshop の床は 150m x 400m。建物は 3 つに分散されておりピットが 14 ヶ所に設置。ガス溶接機 2 基。電気溶接機 1 基。旋盤。ボール盤。研削盤。大型充電器。

**(2) 隊員の業務内容:** *Workshop の管理。*

。業務上の地位: *Mechanical Supervisor, Chief Mechanical Supervisor (英国人) と Foreman (マラウイ人) の中間の地位。*

。扱う車輛等: 4 トントラック (ハイブリッド・フォード) 8 トントラック (三菱) ラジオカー。農耕用トラック 建設機械 (大型スクレーパー・ブルドーザー・モーターグレーダー) 20 トントレーラー 其他各種機用エンジン。ウォーターポンプエンジン。木材切断用エンジン。その他車輛 150 台ほどを当 Workshop で修理。

。業務の形態: 隊員が直接修理行なうだけでなく、Workshop 全体の管理が主業務。書類の署名 (部品発注時、トラックの修理、部品購入)。部品の管理。車輛修理後のロードテスト。

。カンパパート等: Workshop にメカニック 約 50 名が勤務。作業上の指示、問題点はマラウイ人で行っている。ほとんどの高卒。他高卒。訓練所卒が少し。

。マラウイ人: Project Manager 等 英国人 4 人。

。使用言語: 英語

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:** *植田弘司隊員の交代。*

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

- 1. 高卒以上。
- 2. ガソリン・ディーゼル整備士 2 級
- 3. 実務経験 3 年以上。
- 4. 年齢 20 歳以上。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

390 自動車整備

記入昭和 57 年 6 月 日

調査者氏名 長 倉 孝

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	Motor Vehicle Mechanic	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語) 自動車整備	(どちらでも可) 人	受入期限 58年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *ministry of Agriculture*  
(日本語): 農業者

ロ. 隊員勤務先名称: *Ngabu Agriculture Development* 日本語名称 ( )  
所在地: *Ngabu Division* 主要都市からの距離 ( より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: *マラウイ南部の用発プロジェクトで使用する機械・車両の補修。車約 103 台 (YAMAHA DT-100 2台, HONDA CT-90 82台)*

ニ. 設備概要: *溶接器, ピスト, 手工具 (完全)*

(2) 隊員の業務内容:

*Mechanical-Maintenance 部内 (Workshop) における 車・バッテリー・タイヤ部の監督*

。業務上の地位: *Technical officer (T.O.)*

。業務の形態: *作業指示書の作成, 在庫票の作成が主な仕事である。同時に 車両の整備, 保管機具の点検, 管理, 車両の手配を行なう。*

。カウンターパート等: *なしとおりのこととする。*

。材料について: *特殊工具はない。*

。ホリ國人: *他の section に白人 7 名*

。使用言語: *スワヒリ語, 英語*

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: *中島寛隊員の交代。*

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 高卒以上 (○) *ガソリン 2 級整備士*

(○) *実務経験 2 年以上*

*部品の管理ができる者*



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

380 自動車整備

記入昭和57年3月 日

調査者氏名 長 倉 孝

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) Automobile Mechanic	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 自動車整備	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限5年(月迄に現地到着のこと)

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Ministry of Works & Supplies*  
(日本語): 工業補給省

2. 隊員勤務先名称: *Plant & Vehicle Fluid Organization* 日本語名称 (重機車輛貸貸局)  
所在地: ブランザイ 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 隊員の勤務することとなる Car Division で ブランザイ地区の乗用車(政府所有)の修理と行っている。課長1名、Supervisor 1名、アーマン1名、メカニック25名、クラフ5名。

4. 設備概要: 整備ピット5。自動車汽車機を除く整備に必要な工具等はすべてそろっている。

(2) 隊員の業務内容:

5. 業務上の地位: *Mechanical Supervisor*  
6. 業務の内容: 車輛の直接修理及び 部品の管理

7. カラクター等: 一般メカニックは年齢20~47才。技術としては基礎的なことはほとんどありすぎる。

8. 使用言語: 英語

9. 中三国人: 7人

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 西藤星信 隊員の交代

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 専門学校卒以上
2. ① 2. 免許(ドライバー、ガソリン整備士)
3. 実務経験3年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 56年 4月 10日

359 自動車整備

総

調査者氏名 平川 謙

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガ-十	(現地公用語) Moto Mechanic	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 自動車整備	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ghana Police Force  
(日本語): ガ-十警察

ロ. 隊員勤務先名称: 中央ワークショップ 日本語名称 ( )  
所在地: ACCRA 主要都市からの距離 ( ) キロ

ハ. 事業規模及び内容:

約 20名の修理可能な Workshop.  
ガ-十人車整備士 30人勤務 (32名以上)

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ガ-十警察が使用する自動車 20台以上 (5000cc) の整備・修理に従事し、同時に他の部隊に指導する
- 10-4不足による 10-4 系統の修理車の技術が不足している (10-4の再生)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

自動車整備士 2名 (2名以上) 経験 4年以上

147

① 10-4 系統の修理車の技術が不足している Better

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

380 自動車整備

記入昭和 57 年 3 月 2 日

調査者氏名 吉村正寿

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
PNG	(現地公用語) DRIVING INSTRUCTOR	(男) 1 人	訓練開始 57 年 10 月
	(日本語) 車輛運転、整備指導員	(女) 人	派遣予定 58 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): DEPARTMENT OF POLICE

(日本語): 警察署

2. 隊員勤務先名称 BOMANA POLICE TRAINING COLLEGE (日本語名称 ボナ警察訓練大学)

所在地: BOMANA

主要都市からの距離 (市より 16 キロ)

3. 事業規模及び内容:

PNG の唯一の警察訓練学校  
教官の数 100 名以上

4. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

隊員は PNG の唯一のボナ警察訓練大学に派遣され、警察官に対し、單車、乗用車の正しい運転技術、及び整備技術について指導にあたる。  
安全運転の指導、車輛故障の点検整備、交通事故にからず車輛欠陥部の点検を行なう外、警察官の運転指導員及び車輛検査官の養成にあたる。  
勤務時間は AM 7:45 から PM 4:06 まで、土日は休む。本外問わず、1 人 1 人 1 人が勤務にあり、使用言語は英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

交通事故の多い当国の現状に鑑み、警察官の正しい安全運転、車輛点検技術の習得の向上と計画的に要請される。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高校卒業レベルの学歴とあり、安全運転、車輛点検技術の経験量から、指導員としての能力と有るに、英語力と必要とする。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

390 通信電力

記入昭和 56 年 9 月 10 日

調査者氏名 豊嶋 一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語) Generator	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 自家発電機	(女) 人	派遣予定 57 年 7 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Kenya Post & Telecommunication Corporation  
(日本語): ケニア 郵電公社
- ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 ( )  
所在地: ナイロビ 主要都市からの距離 ( より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: ケニア国内の郵便 電信 電記事業を独占している  
公社である。
- ニ. 設備概要: ~

(2) 隊員の業務内容:

- ナイロビ本社のほか各地の無線中継所、郵便局の自家発電機の点検修理の実務及びケニア人スタッフの指導が中心。
- 業務上の地位: 技師
  - 技術の範囲: ディゼルエンジンのオーバーホール及び電気電子機器の修理技術
  - 業務の形態: 現場での実務及び指導
  - カンパニーの水準: ケニア人スタッフの中にはエンジンについては相当の技術と有する者がいるが電気電子機器関係と解する者が少なく、学歴は高卒も割 高専卒 2割 他は小卒、平均年齢は 35 才程度
  - 現地で利用可能な人材: テクニク 類は稀なところ
  - 公社内には日本人を含む外国人専門家が勤務しているが、自家発電機関係にはいない。
  - 使用される言語は英語である

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

最近自家発電機が増設され技術者不足に悩んでおり、19名の訓練生を1983年まで実習指導し一人前の技術者とする必要から日本人隊員の交替要員の確保は絶対的に期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

技術的に知識、経験が業務遂行に問題なければ、学歴等は向う任す。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 9月 8日

390 通信電力

調査者氏名 清水 義之

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西サモア	(現地公用語) Telecommunication Electric Power Equipment	(男) 1人	訓練開始 57年 4月
	(日本語) 通信電力	(女) 人	派遣予定 57年 8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57年 7月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Communication

(日本語): 郵政省

2. 隊員勤務先名称: Apia Telephone Exchange 日本語名称 (アピア電話局)

所在地: Lalovaea, Apia 主要都市からの距離 (より 0 キロ)

3. 事業規模及び内容: 小局用電力装置、空調、PBX用電力装置、無線用衛星通信用電力装置、電信 Telex 用電力装置がある。スタッフは電話交換保守部内で訓練中 (Fiji) の者も含めて 20名。

4. 設備概要: 静止形信号装置, Booster, 受電装置 (3相 400V), ディゼールエンジン発電機, FC形整流器 (SID使用) 3台, 蓄電池, 空調 (パナソニック 2台)

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: Electrician

② 技術の範囲: 上記装置の保守がある。他に若干の電話交換機の知識があれば、電話交換機の隊員と協力して仕事することもできる。

③ 業務の形態: 主に電話局内での保守。PBX用電力装置の点検整備もある。求められれば、無線通信部内、衛星通信基地へも行くことになる。

④ 対象者の学歴: 高卒以上。対象者の年齢: 24才以上。

⑤ 現地で利用できる機材: 現在、電力及び空調保守用の特別な工具はない。大型メガネレンチセット、ボックススパナセット、付交換樹脂、アルコール水温計は機材要求ありついでである。

⑥ 職場に於ける外国人及び日本専門家の配置状況: 現在、衛星通信保守部内で電力装置の専門家 (エンジニア) が 1人いる。

⑦ 使用言語: 主に英語。サモア語も話すが越した事はない。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: サモア人の Senior Technical Officer に、スタッフの中から専門的に保守する者を選んで、隊員に付ける様に頼んである。今迄、電力及び空調設備は片手間の仕事で障害が起きてから調べ直すというやり方であり、電力室内もあまり整備されてない。これから定期点検保守の確立が望まれている。併せて電力装置保守の専門家の育成も望まれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高卒、実務経験 6年。特に空調、ディゼールエンジン発電機の整備のできる人。壊れた場合に部品取替のできる人。

# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 4 月 15 日

## 401 土木設計

調査者氏名

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語)	(男) 2 人	訓練開始 57 年 10 月
	Civil Engineer	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
土木設計			

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Works

(日本語): 建設省

ロ. 隊員勤務先名称: Ministry of Works

日本語名称 (建設省)

所在地: ナイレ

主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 日本の建設省を凌ぐといわれてきたケニアは、公共建築物の設計は一部外注もあるが建設省内の技術者が担当するケースが多い。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 土木設計技師

② 技術の範囲: 橋梁担当 1名  
上下水道担当 1名  
構造設計担当 1名  
土器図担当 1名

③ 業務の形態: 通常、本省内に勤務することになるが、現場に出張することもある。

④ 研修の年数: 役務提供のため、研修-パートに指定されることはない。

⑤ 利用可能な器材: 机その他。

⑥ 同行人数: 建設省内にはかなりの数の白人専門家が見受けられる。

⑦ 言語: 英語 (スワヒリ語)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在、ケニアに対しては国際技術や多くの先進国から多額の資金援助が与えられているが、建設省に技術者が不足しているため、資金の活用が大半をおこなっている。ケニア人技術者が質量ともに十分育つまで協力隊員の協力が望まれている次第である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高卒又は大卒 (実務経験 1 年以上) 英語の力が弱くない者。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57 年 3 月 日

400 土木設計

調査者氏名 長倉 孝

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) CIVIL ENGINEER	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 土木設計	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 57 年 2 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Works & Supplies  
(日本語): 工業補給省

ロ. 隊員勤務先名称: Design Department 日本語名称 (設計局)  
所在地: Lilongwe 主要都市からの距離 (より〇キロ)

ハ. 事業規模及び内容: マラウイにおける土木構造物 (道路、橋梁等) の設計、計画調査等を行う設計部本局。道路部門、橋梁部門、構築物部門、測量部門、土質検査部門から成る。

ニ. 設備概要: 各人に机、必要に応じて製図板が用意されている。備品 (電卓、スケール、各種定規等) はほとんど隊員の携行機材でまかなっている現状。

(2) 隊員の業務内容:

。業務上の地位: P.O. (Professional Officer)

。技術の範囲: 道路設計 - 路線決定から付帯構造物の設計を全て隊員にまかされる。  
橋梁設計 - 日本に比較して地震の解析がかなり幅広く技術を要する。

。コンタクト: 年齢は約 30 代前半。Secondary School (高校) 卒、マラウイ、英国の大学卒業の者から。経験は多少。

。非3国人: 白人コントラクター - 約 6 名。

。使用言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 柴田信二隊員の交代。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について〇印で囲むこと):

① 大学土木科卒

② 実務経験 2 年以上

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 6月 30日

404 上下水道設計

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガambia	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 57年4~6月
	Civil Engineering Design	(女) 人	派遣予定 57年8~10月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと
上水道設計技師			

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語): Office of The Prime Minister  
 (日本語): 総理府

2. 隊員勤務先名称: Kitwe District Council      日本語名称 (キトウェ市役所)  
 所在地: P.O. Box 22495 Kitwe      主要都市からの距離 (ルサカより350キロ)

ハ. 事業規模及び内容: Kitwe市役所には5局(土木・保健・住宅社会事業・財務書記)があり、土木局は更に9 section (上水道・計画・設計・消防・下水道・道路・車輛工場・総務・電気) からなっている。市の人口35万、住宅数5万4千戸のガambiaの3大都市である。

ニ. 設備概要: 業務遂行に必要な機材はすべてある。昨年総額65万 Kwacha (約2億円) で新しい貯水槽 (許容量500万ガロン) が完成。続いて250万 Kwacha (約7億円) で新しいパイプラインと、2つのポンプ場と、貯水槽が作られた。既存のものとしては貯水槽 (250万ガロン、2槽) 高架貯水塔 (25万ガロン1塔) など。上水道に関する設備は整っており稼働している。

(2) 隊員の業務内容: 隊員は新しい上水道建設に伴う現場調査、関係諸設備全搬の計画・設計にあたる。また既存の設備の改良設計にも当る。

- ① 隊員の業務上の地位: 上水道設計技師
- ② 技術の範囲: 新しい上水道建設の計画設計・調査に関する豊富な知識と実務、又、既存の設備の改良に伴う設計
- ③ 業務の形態: 現在2名の設計技師とその下に16名の設計助手がより業務に当る。
- ④ カウンターパート: 16名のガambia工科卒の基礎的な知識を身につけた技術者が隊員のアシストにあたる。
- ⑤ 現地で利用できる機材: 業務遂行に必要な設計機材は一通揃っている。
- ⑥ 職場におけるオ3国人: 土木局長 (アメリカ黒人)、インド・スリランカ人コントラクター多数
- ⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: キトウェ市の急激な人口集中化に伴って上水道供給設備が追いつかない状況にある。市としては関係国際機関等の協力のもとに新しい上水道設備を計画中であり、少ない予算と物不足の現実を踏まえた上で、当国にとって最も効率の良い上水道設備の斬新な Idea と Plan、設計を、わが volunteer に大きく期待している。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
- ① 大卒 (土木工学科専攻)      ② 実務経験 5年以上      ③ 英語必須
  - ④ 単車運転免許      ⑤ 1級土木設計技師





# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 4 月 2 日

410 土木施工

調査者氏名 佐野 弘幸

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
エチオピア	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 57 年 2 月
	農業土木 (工不施工も可)	(どちらでも可) 人	受入期限 1 年 2 月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語): *Agriculture Development Department of Ministry of Agriculture*  
 (日本語): 農業省 農業開発局

2. 隊員勤務先名称: *Agronomy section* 日本語名称 (農業課)  
 所在地: *Addis Ababa* 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 農業省内の中心的な部門で、全国にわたる協同農場やデモンストレーション農場の統轄、指導を行なう。全国的な組織としては、エチオピア最大級のものである。協同農場は全国に100以上、デモンストレーション農場は無数。

4. 設備概要: アジスアバに本庁、全国各地に出張所がある。その他、農業試験場がいくつかある。

**(2) 隊員の業務内容:** 本庁の農業専門家達とチームを組んで、各地の協同農場やデモンストレーション農場の調査を行ない、主に農業用水に関するアドバイス、農場の地固作り、小規模な構造物の設計施工等。

① 隊員の業務上の地位

外国からの専門家として扱われる。本庁の職員達と同等である。

② 技術の範囲

現在、農業課には土木関係者はいないので、非常に幅広い知識が必要となるが、大規模なプロジェクトはないので、高度な知識は必要ない。また、地方では土木に関する経験者はいないので、実務経験が必要である。

③ 業務の形態

農業専門家とチームを組んで、地方の巡回が多い。地方では、測量や施工のアドバイス等、本庁では、地方のデータ収集に力を入れているが、いずれも高度なものはない。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準 年令

本庁においては皆大学卒業程度で、農業家としては高度な知識を持っているが、経験が不足している。地方では農業高校卒業程度であるが、実際はもっと低いと思われる。尚、いずれの場合も土木関係者で、実際経験のある者は非常に少ない。

⑤ 現地で利用可能な機械

測量機械はそろっている。

↓ 776

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:**

現在、農業省には *Soil & Water Conservation Section* が土木関係の仕事を任せているが、人員不足のため、独自のプロジェクトの仕事に力を入れている。農業課としては各地の農場の要請に答える為、どうしても土木関係のエンジニアが必要となっている。各農場の正確な測量等を期待している。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

特に資格は規定していないが、地方での諸問題に臨機応変に対応していくためには、実務経験が4~5年は必要であろう。学歴は特に規定していない。又、地方出張が多いため、体力、精神力に自信のある者がよい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

410 土木施工

調査日 54年 4月 18日

調査者氏名 元島通夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
カーナ	CIVIL ENGINEER 土木技師	(男) 5人 (女) 0人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): STATE CONSTRUCTION CORPORATION (S.C.C.)  
(日本語): 建設公社

2. 隊員勤務先名称:

所在地: マクラ地区

事業規模及び内容:

労働者 3,000人 をかかえる カーナ最大の建設会社である

3. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

S.C.C.は施工が主体で、施工計画、工程表作製、施工方法の検討、設計図のチェック、手直し、及び WORKS SUPERINTENDENT (現場監督) の指導、教育が主な業務内容である

1. 作業所長又は作業所次長で現場にいて、地位が高い
2. 土質、コンクリート、測量、力学に多少程度の力があり、現場経験が多少、技術に多少の心得があること
3. 下請を扱ったり、直接に於ける施工会社
4. ENGINEERはクマツの工科大学を出ているので、程度は高いが、その他は程度がガクと落ち、日本の土工の知識は少ない、今年度、40名前後が多い (カウター・レポート)
5. 一応、材料は何でも揃っているが、スパア・パーツ不足で、完全とはいえない、車の問題が一番、かた、で、中古の車を、日本から持ってくる
6. TV
7. 英語

(3) 受入希望の背景と受入側の期待:

ENGINEER 不足で、現場は右セクマに人員がわかれているので、それゆえに、いかに ENGINEER が増えれば、(S.C.C.の道路部内でも10人といい)、新施工方法の導入とカーナに対する刺激

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件についての印で囲むこと):

大学卒が望ましい (現地人の学校の都合次第)  
土木施工管理技士、測量士、建設管理士、運送免許 (普通種)  
実務経験 3年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

410 土木施工

記入昭和 66 年 5 月 1 日

調査者氏名 中野勝安(室内)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガーナ	(現地公用語) Civil Engineer	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 土木施工	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Tema Development Corporation

(日本語): テマ開発公社

2. 隊員勤務先名称: Tema Development Corporation 日本語名称 ( テマ開発公社 )

所在地: TEMA

主要都市からの距離 (ワラより 30キロ)

3. 事業規模及び内容: テマは港、工場、住宅を誘致した計画都市であり、テマ開発公社は区画整理、道路の設計、施工、住宅供給により、テマの都市づくりを進めている

4. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

仕事は新しく開発する地区における道路、排水溝、下水路、構造物の測量、設計、施工、監理であるが、各自が自分の得意とする分野に従事すればよい。

1. 隊員の業務上の地位は、開発部一技術課一設計係である
2. 技術の範囲としては、道路、下水、測量、鉄筋コンクリート構造物のいずれかを習得していること
3. 技術課長より仕事をもらい、各担当と打合せをし、資材を調達し、図面を作製し、もしくは処理して報告する
4. 技術者は少ないが、測量を行なう者、図面を描く者などはかなりいる。なお協力隊員の推薦により 2 人の技術者研修員が日本に行ったことがある。
5. 測量器具、製図台はあるが、自動車の手配はむずかしい
6. 現地人職員の外は協力隊員が 3 名いるだけである
7. 英語が非常によく通じる

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高校、大学もしくは専門学校で土木工学を専攻していることが望ましく、実務経験 2 年以上。特に必要な資格はないが土木施工管理技士、測量士はあれば良い。英語がある程度話せること。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57年 1月 20日

## 410 土木施工

調査者氏名 高橋 臣夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定	
ペルー	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始	年 月
	(日本語)	人	派遣予定	年 月
	土木施工	(どちらでも可) 人	受入期限	年 月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語): Sistema Nacional de Cooperación Popular  
 (日本語): 全国人民協力機構

ロ. 隊員勤務先名称: 具体的な勤務先は隊員の到着を待って日本語名称 ( )  
 所在地: 決定 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: リマ市に本部を有し 現在国内31ヶ所に事業実施のためのセンターを持つ。(将来は153ヶ所に増設) 各センターには技術者等5~6名が配置され 管轄地域内の住民が自主的に行う中小規模の灌漑工事 耕地造成 道路造成 補修 教育医療関係施設 建設等

ニ. 設備概要: のアロジフトに対し その企画 調整 設計 施工等の面で援助 指導を行うものである。これにより 開発の遅れた地域に振興を その地域住民の自主性を尊重しながら促進しめようとする。

**(2) 隊員の業務内容:**

この組織の主要な目標とありは

新規の要請であり また この組織そのものが比較的新しいため (1963~68年の第一期ベラウンテ政権時に設立され、その後軍事政権時代は活動を中断 1980年11月に復興された) 未だ体制が整備されていないため 具体的な業務内容は隊員の到着を待って決定せざるを得ない面が多いが、当座は今回要請のある土木施工3名及び農業土木2名の隊員がチームを組んで一定地域内のセンターを以て各種アロジフトの指導にあたることとする。

① 隊員の業務上の地位: 地方事業センターにおける技術顧問として 各種アロジフトを直接指導する他 その地域に 地域住民の人材育成 及び ペルー側技術者への技術移転を行う。

② 技術の範囲

- ① 道路・橋梁の設計・施工及び補修 (2名)
- ② 上下水道の設計・施工及び管理 (1名)

いづれも 郡部における 資金 資材にも不足が中での工事が主体になると考えられるため、高度な専門知識よりは、中立的な現場経験が要求される。

③ カウンターパート: 特定のカウンターパートは居ないが、各センターに配属されているペルー側技術者と協力して業務を行うことになる。一般に知識が豊富であるが、現場経験に欠ける技術者が多い。

④ 利用し得る機材: 計画では、各センターに ブルドーザー2台、ダンプカー1台、小型トラクタ1台、コンプレッサー、ミキサー、モーターポンプ、空気ハンマー等の他 測量機器一式が配置される予定。

⑤ 使用する言語: スペイン語

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:** '80年7月に復帰したベラウンテ政権が 国家再建計画の一環として 開発の遅れた地方の振興を図るために、その具体的な実施機関として復興したのがこの全国人民協力機構である。その活動はマスコミ等により広く取り上げられており、今後とも益々活発な活動を展開して行くものと予想されるが、核となる技術者が不足している状況にあるため JOCV隊員の派遣が要請されたものである。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

- ① 大卒、実務経験3年以上 または 専門の高校卒 経験5年以上
- ② 自動車運転免許 (道路・橋梁担当隊員は大型運搬機器の運転が出来ること望ましい)

③ チームを組んでの活動となるため 協調性の高い人物



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

420 測 量

記入昭和55年9月11日

調査者氏名

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
モロコ	(現地公用語) TOPOGRAPHE	(男) /人	訓練開始 年 月
	(日本語) 測量	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 BUREAU DE RECHERCHES ET DE			
1. 配属先名称 (現地公用語): PARTICIPATIONS MINIERES			
(日本語): 鉱山探査合弁公社			
0. 隊員勤務先名称: " 日本語名称 ( )			
所在地: 5-7 CHARII MOULAY HASSAN RAPA 主要都市からの距離 ( より キロ)			
ハ. 事業規模及び内容: 1978年現在、職員数1481人、鉱石、石油探査費6200万ディルハムの規模でモロコ中の、火葬鉱石を除く、鉱床、及び石油の探査、開発を行っている。			
ニ. 設備概要:			
(2) 隊員の業務内容: 探査用地地形測量、鉱山測量(坑道、立坑、斜坑) 読金量測量(位置、方位) 物理探査用測線測量			
・業務上の地位: 技術部長付、コンサルタント技師			
・の形態: ラバトを本拠地として、必要に於て、全国各地の作業場へ赴いて測量にあたる。業務の大部分は、出張で占められる。			
・カウンターパート: モロコにある鉱山学校の測量科で2~3年学び、10年以上の経験者を含む。			
・現地で利用できる機材: ドイツ製、フランス製の測量器械、器具はあるが、本人専用の機材としてトランジット、ステレオコンパゾグラフ、視差測定機、フランスコンパス、レンジファインダー、点測機、地質、露天堀、南緯の参考			
・現場における第三国人、専門家: 技術者部には第三国人なし、鉱山探査部に日本人専門家2名。			
・言語: フランス語。かんたんな出張報告を書くことが要求される程度。会議なども余りないが、現場で部下に指示を与える程度の会話力は必要である。			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 公社会体で測量関係に携わっているのは150人程いるが、実際に仕事のできる者は、1割くらいである。公社会体は、当初、専門家の派遣を希望していたが、測量の専門家派遣は、おかしな、及び、モロコ人の中に入て、一語に物言えぬから指導し、レベルを高めてほしいというところから、隊員を要請している。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 健康で、協調性があり、道徳心をもち、できる限り、測量士としての経験者、3~5年以上。○製図ができること、年齢は若い方がいい。			

# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

420 測 量

記入昭和 56 年 12 月 / 日

調査者氏名 豊嶋 一平

受入希望三名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
4名	(現地公用語) surveyor	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 測量士	(女) 人	派遣予定 5. 57 年 7 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 記 要

1. 配属先名称 (現地公用語) JOMO KENYATTA COLLEGE OF AGRICULTURE AND TECHNOLOGY. MINISTRY OF HIGHER EDUCATION  
(日本語): ケニア国高等教育省. 沼エケニヤツ農工科大学
2. 隊員勤務先名称: JOMO KENYATTA COLLEGE OF AGRICULTURE AND TECHNOLOGY (日本語名称 (沼エケニヤツ農工科大学))  
所在地: 主要都市からの距離 (NDCより 35キロ)
3. 事業規模及び内容: 日本国無償援助(48億円)による大学でケニアの中間技術者育成を目的とする。工学部と農学部に分かれ、工学部は8コース3学科、農学部は3学科から成る。農学部は農業工学科、園芸学科、畜産工学科と有し、各定員36人、30人、20人の学生(学年)が56年5月より入学、勉強している。
4. 設備概要: 講堂、教室、実験室、各17教室、全寮制の学生寄宿舎、食堂、図書館、大学附属工場、農舎と有しているが、完全ではない。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 高等教育省に属する講師
- ② 測量全般を学生に教える程度。(特殊な航空測量や、電気距離測量の経験は少ない)
- ③ 講師として教壇に立ち、講義及び実習を行う。
- ④ 学生対象(18才~25才) ケニアの普通中学校卒業生で、農業省で3~5年新務している学生者5~6人いる。上記経験のある学生2名ほど、技術レベルはゼロである。
- ⑤ ほとんどのものは金銭面では入手可能だが非常に高価である。一例: Government Priceによるオートバイは1台1万3千250円、しかし商税がかかれば倍近くになる。現在工学部に必要な測量機械を借用している。最低限の教材は、農学部農業工学科でも揃えたいと希望、申請しているが承認されていないのが現状である。(JICA 無償援助)
- ⑥ 日本人、ケニア人のみで、他国専門家はいない。
- ⑦ 三語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現地講師陣の募集は行われているが、遅くともにはかどっていない。このうち農学部は、農業士国とわが国ケニア側ともに人材不足から、農業省下に二の大学がないこと、集約は非常に悪い。給与も、教育に同等の量からが弱い面もあり、測量とこの科目の講師は皆無に近い。かかる現状から、有能かつ一般の測量や出来る学生を育てることは、多大な貢献を生むものと思われる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大学卒業程度    ② 測量士    ③ 3~4年程度



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57 年 3 月 日

420 測 量

調査者氏名 長 倉 孝

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
マラウイ	(現地公用語) SURVEYOR	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 測 量	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 58 年 4 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Works & Supplies  
(日本語): 工業補給省

ロ. 隊員勤務先名称: Design Department 日本語名称 ( 設計局 )  
所在地: Lilongwe 主要都市からの距離 ( より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 当設計部ではマラウイにおける土木構造物(道路、橋等)の設計、計画調査を行なう本部であり、隊員はマラウイの Survey Section に配属となる。ここでは Central Region の道路測量、Capital City における市街測量を中心とした 4 名の測量士が業務に携わっている。  
ニ. 設備概要: スイス WILD 社の測量器具を中心に業務に使用する道具は全て整っている。  
その他、英国製、日本製(協力隊に貸与)のものがある。

(2) 隊員の業務内容:

・業務上の地位: Technical officers (T.O.)

・技術の範囲: 道路測量、市街測量に用いる測量技術一般

○ カレッジ・パートナーとして、マラウイ大学、Polytechnic を卒業したスタッフもつくっている。

・米国人はいない。

○ 使用言語: 英語、チンワ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

55/4 赤羽敬治隊員の交代。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 測量士補以上

② 実務経験 1 年以上



# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 9月 9日

440 建 築

調査者氏名 豊嶋 一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語) ARCHITECT	(男) 2人	訓練開始 57年 4月
	(日本語) 建築	(女) 人	派遣予定 57年 8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57年10月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF WORKS

(日本語): 建設省

ロ. 隊員勤務先名称: MINISTRY OF WORKS

日本語名称 (建設省)

所在地: ナイロビ州マバカ地方

主要都市からの距離 (よりキロ)

ハ. 事業規模及び内容: 年間予算4億シリングにて政府関係ビル及び公共建築物(学校・病院等)の設計・施工管理を行っている。

ニ. 設備概要: 日本の建設省に準じる。

**(2) 隊員の業務内容:**

公共建築物の設計と施工管理の業務であるが一般に設計業務が主体となる。勤務地はナイロビの本省70%、地方事務所30%位の確率と見られる。

- ① 業務上の地位: 建築設計士
- ② 技術の範囲: 建築設計全般。主としてコンクリート及びブロック建築物を対象。
- ③ 給与・パート等: 所属の上司は英国人又は他のヨーロッパ人である場合が多く、同僚はナイロビ大学等の建築科出身者が多数いるが、未だ別の仕事に就いており、パートとはほぼ無い。
- ④ 利用可能な材料: 大体必要なものは揃っているが、通算、シリンガマフ、予備の製図用ペンと務行するに便利である。
- ⑤ 使用可能な言語: 主として英語。
- ⑥ 気候かどうか: 7月の雨季は交通要路である。

最近ナイロビはセメントの仕立事情が悪いため一つの仕立(2~3バッチ)に2~3名の労働者が共同で仕立を行えば済む場合が多く、このことを留意して志願してほしい。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 昨今ケニアにおけるインフラストラクチャーの整備はめざましいものがあるがケニア人建築技術の不足は極端で特に政府関係の公共施設の確保は困難を極めている。建設省としてはケニア人技術者が不足するまで外国の技術者に頼らざるを得ず、日本人協力隊には特に大きな信頼と期待、その協力を期待している。現任建設省には10名の建築隊員が配属され、その中で活躍中である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
 (高専又は大学の建築科卒) であり、2年以上の実務経験が望まれる。最低(2級建築士)の資格を有すること。設計の打合せ等に英語力が必要である。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年9月10日

## 440 建 築

調査者氏名 大西規夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
タニカニ	(現地公用語)	(男) 3人	訓練開始 年 月
	Architecture	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限55年8月迄に現地到着のこと
建 築			

**(1) 配 属 先**

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Works  
 (日本語): 建設省

ロ. 隊員勤務先名称: National Estates and Designing Company 日本語名称 (国家財産管理開発公社)  
 所在地: Dar es Salaam 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: NEDCCは1968年公共建築物の設計・施工・監理を目的として開設されたタニカニ唯一の国営会社である。本社はタニカニにあり、アルコマ、トトマ、サニタールなどの地方都市にも支社を置いており、年間経費金額は約2億円である。

ニ. 設備概要: 本社のタニカニは5階建ての事務所は約200名の取組がおり、同社は設計事務所であり、設計用図の地は取り立てて設備らしきものはない。

**(2) 隊員の業務内容:**

建築又はその要請のうち1名は建築設計・監理に従事し、1名は構造設計・計算である。建築部門は6部屋あり、隊員はその内の1部屋で設計に当ることが、現在同部屋には1名、フリーカー(女性)1名の専門家がタニカニ人の建築士1人、同ドラフト225人がおり、それらのスタッフと共に設計に従事する。

一方構造部門は3部屋あり、隊員が入る部屋にはタニカニ人の建築士が2人いる。建築設計対象物は事務所(時として12~13階建て) 病院、工場、病院、学校、集会場等である。

殆どどの建築士はソマリア、東アフリカなどに数年同留学して、その現場監理の経験が豊富で施工国がかけつけ者が多い。従って隊員は現場経験者が望ましい。

技術面のケーフはホランド人の専門家が担当しており、他に数人の外国人専門家がおり、隊員はこれらの専門家との関係を築く。また専門の建築は金で英日方式を取っているのが参考書などで事前に準備すること。製図板、定規(T三角) コパス、ホルター等は揃っている。

隊員には手厚いカニカニパスを付けたいが、業務を通じてタニカニ人の建築士やドラフト225を指導することになる。

取組への金は英語であり、隊員は英語が堪能となる。

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:**

現在NEDCCには外国人専門家からタニカニ人の建築士がおり、しかし、十分な設計が乏しく、施工監理も不足するものが少なく、建築の段階で同様の多いようである。また、現場では現場の経験が豊富であり、施工国は運輸の2と現場監理も不足することから、隊員の活躍の場は多い。NEDCC側にはこの種の隊員を引続き期待している。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

学歴は短大卒業程度で良いが、経験豊富なこと(現場経験も含め最低3年以上であること) 現場での経験は、技術程度は日本の二級建築士の免許がほしい。また、年齢は27~28才がいい。外国人との直接的な立場に立つので一級建築士がほしい。また、年齢は27~28才がいい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 4 月 18 日

440 建 築

調査者氏名 栗野浩三

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガーナ	(現地公用語) Builder's Engineer	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 建築施工	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 State Construction Corporation (S.C.C.)

イ. 配属先名称 (現地公用語):

(日本語):

ロ. 隊員勤務先名称:

日本語名称 ( )

所在地:

主要都市からの距離 ( ) より キロ

ハ. 事業規模及び内容:

現場監督、施工管理及び図面管理。

ニ. 設備概要:

建築施工機械も各種、施工機械。

(2) 隊員の業務内容:

施工現場の管理、及び、技術監督指導、及び作業点検  
 計画、総合、施工計画、図面及び設計書作成。  
 施工現場に於ける技術指導、監督、管理、建設事業の  
 一般市民に対する認識を深める。

使用言語は英語に可。

過去に英米人等の技術協力有。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

我が国の技術水準の高さを認識し、我が国の技術の水準を(引き上げ)た  
 ための人材の指導監督の只伝達にしたい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 2級建築士、及び、2級建築士

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57 年 / 月 10 日

442 建築設計

調査者氏名 栗野信彦

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
<u>Ethiopia</u> <u>エチオピア</u>	(現地公用語) <u>architecture</u>	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) <u>建築設計</u>	(女) 人	派遣予定 <u>57</u> 年 <u>8</u> 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 <u>57</u> 年 <u>8</u> 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Urban Development and Housing  
Housing Research and Services department  
 (日本語): 都市開発住宅局 住宅サービス局

ロ. 隊員勤務先名称: 同本局 日本語名称 ( )

所在地: 首都 ADDIS ABABA 主要都市からの距離 ( より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 都市中心  
エチオピア全土の都市開発 及び 住宅開発

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

住宅サービス局の主な仕事は住宅に対する設計のアドバイス、計画のサービスであるが、規定、現金収入に基いた基本設計の役割もあり、隊員の仕事はそれ以外に共同建築、例えば「カバレ(住民協同組合)」や「アパート、木造ビル」や「リースビルディング」、レクリエーションセンター等の基本計画、打合せ、実施設計とかが中心である。これは現地建築家と共同で仕事をすることである。隊員には特別に土地は与えられなく、現地の人の家に住むことになる。建築家としての住宅設計は20%程度であり、残りの80%は、積算、構造設計、設備、電気設計、インテリア等の個別設計であり、そのうち重要住宅設計に占められている。サービス局には建築家がいかに少ないか、(今年7月1日時点で)合計4人にとどまり、現地建築家は大学レベルでしかなく、技術レベルは低い。そのため隊員に対する期待は大きいものがある。ある一棟物の建物に専門的知識があると、それによって全20棟物の設計に占める中立的知識と経験を有する隊員が望まれる。材料については交替に任せること、前任者の20%程度に占めると見られる。打合せ、図面に使用する全20語程度の英語、使用単位はCM(センチメートル)。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

専門的知識は浅くとも十分な建築士に占める隊員。語学レベルは低くとも学問に対する好奇心、現地人との支那性を持った隊員。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 大. 高校建築学科卒、最低二級建築士以上、少なくとも4~5年の実務経験者。  
 自動車運転免許証。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 6月 15日

442 建築設計

調査者氏名 奈良輪陸美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガンビア	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 56年 10 or 12月
	(日本語)	(女) 1人 (どちらでも可) 1人	派遣予定 57年 2 or 4月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Works and Supply  
(日本語): 建設供給省

ロ. 隊員勤務先名称: Building Department 日本語名称 ( 建築局 )  
所在地: P.O. Box 30967 Lusaka 主要都市からの距離 (ルカサ市内) キロ

ハ. 事業規模及び内容: 建設供給省は1940年に設立され土木、建築、車輛、印刷、営繕の5局からなり、約2100人の公務員と擁し、workerを含めるとその数凡そ6000人にのぼる。ガンビア全土にわたる政府の道路、住宅、建物、車輛等を維持、監督している。当建築局は更に8section (学校、施設、病院、郵電公社、空港、住宅、軍関係、政府事務所、造園)に分かれ、新しい種々の建築プロジェクトの設計及び施工監督にあっている。また現有建築物の造改築の設計にもあたる。

ニ. 設備概要: 建築設計に必要な事務所機材は一通揃っている。

**(2) 隊員の業務内容:**

- ① 隊員の地位: 建築設計技師
- ② 技術の範囲: 上記8セクションのうち、本人の履歴及び実務経験年数によって配属先セクションが決める。しかし隊員はあくまでも設計業務にあたる。
- ③ 業務の形態: 各省庁の要請により既に予算化されたプロジェクトの建築物の設計に当る。毎月平均1回は地外出張があり、建築中の建造物を巡回し、指導し、進捗状況等を検査する。(大型プロジェクトは年平均50前後ある)。
- ④ 対象者のバックグラウンド: 専門学校卒 20歳前後のカウンターパートが各セクションにいる。
- ⑤ 現地で利用できる機材: 揃っており、携行する必要なし。
- ⑥ 邦国人及び日本専門家: 本建築局には現在12名の外国設計技師がいる。(イタリヤ人、イギリス人、パキスタン人、イラク人)

(各省庁の要請による公共施設の設計・施工管理を任されているので非常に幅広い知識と関係途上国に興味があり、自由に画期的設計ができる隊員が期待されている。しかしせかく設計しても予算や資材の制約から着工、完成まで数年を要するものが多いため、従って実際に大型建築物の設計にあたる経験者でなければ要請に答えられない。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国も他の開発途上国同様に上級公務員(技師)不足が甚だしく、実質的にはイタリヤを中心とする外国人コントラクターの牛耳るところとなっている。日本の高い建築水準を是非とも当国に取り入れて、新しい国造りのために自由で斬新な設計技術を導入したいとの強い期待が寄せられている。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

- ① 大卒 (建築設計専攻) であり修士課程が望ましい。
- ② 実務経験最低5年
- ③ 27歳以上
- ④ 英語は会議等があり、上級英語が要求される。
- ⑤ 1級建築設計技師 特に建築設計の資格証明書(英文)が必要
6. 単車運転免許

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 6月 15日

444 建築施工

調査者氏名 奈良輪陸美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Building Engineer	(男) 1人	訓練開始 56年10or12月
	(日本語) 建築施工監督	(女) 人	派遣予定 57年2or4月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Works and Supply  
(日本語): 建設供給省

ロ. 隊員勤務先名称: 各州都の地才局に配属 (日本語名称 ( 建築局 ))  
所在地: ルバワシ、モン、チン、カザ、ソルウェジ、マンサ、 主要都市からの距離 ( より キロ)  
シラ、いすれか1か所

ハ. 事業規模及び内容: 建設供給省は1940年に設立され土木、建築、車輻、印刷、営繕の5局からなり約2100人の公務員を擁し、workerを含めるとその数約6,000人にもなる。ザンビア全土にわたる政府の道路、住宅、建物、車輻等を維持・監督している。当建築局は更に8Section (学校、施設、病院、郵電公社、空港、住宅、軍関係、政府事務所、造園)に分かれ、新しい種々の建築プロジェクトの設計及び施工監督にあつている。また、現有建築物の造改築の設計にもあつる。

ニ. 設備概要: 建築事務所には設計・計算に必要な最低限の機材は備っている。

(2) 隊員の業務内容 隊員は建築する際、現場に赴き、工事が四面通りに施工されているかどうか監督し、適切な指示を与える。尚現在大小約20のプロジェクトを抱えている。

① 隊員の地位: 建築技師。主任建築技師の下位でかつ建築技師補佐の上位となる

② 技術の範囲: 建築一般に精通し、構造物現場監督経験を有していること。各省庁の要請による公共施設の設計・施工管理を任されているので、非常に幅広い知識と開発途上国に興味があり、自由で画期的設計ができる隊員が期待されている。しかしせつかく設計しても、予算や資材の制約から着工、完成まで数年を要するものが多いため、従って実際に大型建築物の設計にあつた経験者でなければ要請に答えられない。

③ 業務の形態: 各省から依頼のあつた建築プロジェクトの建設現場の視察、計画策定会議でのミーティングの後、建造物の構造計算材料の選定を行ない、主として建築現場の施工監督に従事する。

④ 対象者及びカウンターパート: 隊員のカウンターパートたりえる技術者はForm V卒業後(高卒に相当)、建築専門学校にて建築に関する基礎的知識を修得している。

⑤ オス国人及び日系専門家: Engineer (技師)は多くがインド人、パキスタン人、英国人等のオス国人である。Technician (技術者)以下はザンビア人である。

⑥ 現地で利用できる機材: 揃つており、携行する必要なし

⑦ 使用する言語: 英語 (特に専門用語はマスターしておくこと)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国も他の開発途上国同様に上級公務員(技師)不足が甚だしく、実質的にはインド人を中心とする外国人コントラクターの増えるところとなっている。日本の高い建築水準を是非とも当国に取り入れて新しい国造りのために自由で斬新な設計技術を導入したいとの強い期待が寄せられている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大学卒 (建築学科)      ② 一級建築士      ③ 実務経験最低5年以上
- ④ 英語必須      ⑤ 単車運転免許      ⑥ 年令27才以上
- ⑦ 構造計算に精通している者が望ましい



# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57年 3月 17日

460 造



調査者氏名 小松 仁司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 57年 10月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 58年 1月
	造園	(どちらでも可) 人	受入期限 58年 1月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Department of Housing, Building & Physical Planning

1. 配属先名称 (現地公用語): 公共事業局、住宅公共建造物計画局

(日本語): Ministry of Public Works and Transportation

2. 隊員勤務先名称: Lumbini Development Committee 本語名称 (ルンビニ開発委員会)

所在地: 市内にあり、郵政地はルンビニ 主要都市からの距離 (バネパシヤ、9キロ)

3. 事業規模及び内容: アジアの仏教国を中心とするルンビニ開発委員会がネパールの主要地

ルンビニを復興整備する目的で開発中のプロジェクトとして現在同連邦技術援助などにより

進行中。当国は宗教的プロジェクトとしてだけでなく多目的開発の一環部分として進んでいる。

4. 設地概要: 市1段階 1980年迄、市2段階 1980~1985年、市3段階 1985年以降

(2) 隊員の業務内容:

- ① 3番階級官 (3rd class officer)
- ② 測量はすでに完了。土木監理士が行っている。今後は設計図に基いて鋼骨造園工事にかかる。
- ③ 現地に常駐し、土木建築施工担当者との調整する。
- ④ カンパニートは担当官の予定。
- ⑤ 必要に応じて調達可能
- ⑥ 今ある橋本測量隊員のみである
- ⑦ ネパール語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

本Projectの本格的施工に入るの造園技術者不足がある。  
宗教Project以外の他の外(専門)系が不足する。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴は高卒以上。経験者で大規模Project造園経験者か望ましい。厂史上に強さの専門的の専門系

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 6月 25日

420 造 園

調査者氏名 長木 忠夫, 田中 史郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フランス	(現地公用語)	(男) 2 人	訓練開始 年 月
	Architecte-paysagiste	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
造園			

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語): Dir. de l'Aménagement Territoire, Min. de l'Habitat et de l'Aménagement  
 (日本語): 住宅国土省(国土部)第 〇 課 (Territoire)

2. 隊員勤務先名称: Division de l'Environnement 日本語名称 (環境課)

所在地: ライト市内 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 住宅整備・国土開発・環境保全(整備)新設(1977年設置)省に  
 対しての環境保全業務。

4. 設備概要:

**(2) 隊員の業務内容:**

- ① 造園家及び造園技師。フランスの教育体系上造園家は(建築師)と同等に扱われ、その地位は高い。
- ② 建築師としての知識及び造園の知識。この資格は仕事に必要である。都市計画の図面を読み、オープンスペースの計画、配置計画、道路の計画(計画の立案)が主な仕事である。
- ③ 住宅国土省の地方官(Delegation 地方官)の招聘に於いて、フランスのオープンスペースの計画及び 1-2 週間現地を巡回し、レポートを作成して報告する必要がある。
- ④ スペシャリストとして活動する(仕事)の必要はない。技術経験上は、フランスの建築師の知識及びオープンスペースの計画、配置計画の知識は必要である(Delegation 通常建築師)との違い(2年制の技術専門学校の卒業、技師補、製図師など)。
- ⑤ フランスの協会は Delegation 地方官(フランス)にある。
- ⑥ 他国からの cooperant (派遣専門家技術者)は存在しない。この国には造園家養成機関がない。その人の多数の造園家は本職として大学卒業生である。
- ⑦ フランスは、アジア諸国に必要とされる高収入ではない。賃金に付いては交渉不可能である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在田中史郎 隊員(54-Ⅲ)が配属されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

\* 国同士の競争が、常に本省勤務。必要に応じて地元の社会生活に慣れる必要がある。その旨を向けては、地方官に要請する旨を別途説明している。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

460 造

園

記入昭和 53 年 8 月 14 日

調査者氏名 駒澤 彰夫

受入希望国名 (現地公用語)	受入希望業種 (印)	受入希望人数 (男) (女) (どちらでも可)	派遣予定 訓練開始 派遣予定 受入期限
タンザニア	Landscape Architecture 造園	4 人	53 年 10 月 年 月 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): PRIME MINISTER'S OFFICE P.O.Box 980 Dodoma  
(日本語): 総理府
- ロ. 隊員勤務先名称: CITY MUNICIPAL & TOWN COUNCIL 日本語名称 (市役所、町役場)  
所在地: ダウイスサラム 他 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- イ. 各任地の公園、庭園、安全帯 (Roundabout を含む) の設計、造成、維持管理  
特に都市部では既存の公園、庭園等の管理業務が多い。
- ロ. 並木の植林とその管理  
特にダウイスサラムでは空港までのハイウェイと並木道に於て、オイスタバーの海岸道路と整備すること。
- ハ. 上記業務に関連して花卉、観葉植物、樹木用の圃場をつくり播種、育苗、移植等栽培を行う。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当国の外貨獲得の重要政策として観光政策があるが、1977年2月以来のタンザニア国と国境封鎖の後、観光には一段と力を入れている。本要請の背景にはこうした政策の一環として街並道路の美化、整備を重視している夕側の事情がある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 専門学科卒業後 2年以上の実務経験 をもつこと。
- スワヒリ語、日常会話程度の英語

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 6月 15日

460 造 園

調査者氏名 奈良 輪 睦 榮

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Landscape Architect	(男) 人	訓練開始 56年10or12月
	(日本語) 造園設計技師	(女) 人	派遣予定 57年2or4月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Works & Supply  
 (日本語): 建設供給省

ロ. 隊員勤務先名称: Building Department 日本語名称 ( 建築局 )  
 所在地: P.O. Box 30967 Lusaka 主要都市からの距離 (14km 市内キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 建設供給省は1940年に設立され、土木・建築・車輻・印刷・営繕の5局からなり、約2,100人の公務員を擁し、workerも含めるとその数凡そ6,000人にものぼる。ザンビア全土にわたる政府の道路、住宅、建物、車輻等を維持・監督している。当建築局は更に8 section (学校、施設、病院、郵電公社、空港、住宅、軍関係、政行事務所、造園)に分かれ、新しい種々の建築プロジェクトの設計及び施工監督にあたり、また現有建築物の造改築の設計にもあたります。

ニ. 設備概要: 造園設計に必要な事務所機材は一通揃っている

(2) 隊員の業務内容: 各省庁の要請による公共建築物の造園設計、施工監督を任せられる。アフリカの植物と大自然にマッチした自由でユニークな設計のできる隊員が期待されている。また既存の空港、大統領行、国会議事堂、国際会議場等、政府に属する造園の指導・監督にあたり。

- ① 隊員の業務上の地位: 造園設計技師
- ② 技術の範囲: 他のSectionで既に設計された建物にマッチした造園の設計にあたり。実際既に作られている大統領行等の造園の手入れについても指導・監督が要請される。
- ③ 業務の形態: 本隊員は2年間の任期中半分は現場指導、残りの半分は新しい造園の設計にあたり。又、年平均50余ある大型プロジェクトにも参加が予定されている。
- ④ 対象者及びカウワーポート: 現在9名おり、高等学校卒業後、全員 Kitwe の専門学校を修了しており、ある程度の設計・施工ができる。年令20才前後
- ⑤ 現地で利用できる機材: 揃っており、携行する必要なし
- ⑥ オス国人: 現在インド人造園技師1名がおり、隊員は彼の下で業務につく。
- ⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 高級技術者の不足している現状から外国コンストラクターに頼り切っているものの、将来、ザンビアナイズーションを目指すためには9人のアシスタントとできるだけ早い時期に指導し、育成することを期待している。従って必ずしも日本の技術者でなくとも、国柄、地域柄にマッチした設計のできる者であれば誰でもかまわないとの前提のもとに、まじめで意欲のある者を強く要望している。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
- ① 大卒 (造園学科卒業の者)    ② 造園設計実務経験最低5年以上    ③ 年令 27才以上
  - ④ 単車免許取得    ⑤ 英語必須

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

記入昭和56年9月4日

470 配 管

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Pipe Fitting/Plumbing (日本語) 配管	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 57年4月 派遣予定 57年8月 受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Construction Manpower Development Foundation  
(日本語): 建設人材開発協会

ロ. 隊員勤務先名称: Construction Manpower Development Foundation (本拠はマニラ)  
日本語名称 ( )

所在地: 未確定、地方都市のうちどこか1か所 主要都市からの距離 ( ) 以上 ( ) キロ

ハ. 事業規模及び内容: 同 Foundation は 工業省下の建設工業特用の下部組織としてつくられたばかりである。同 Foundation は 建設(プラント類を含む)関係の熟練労働者育成のため約25万人を全国各地で5ヶ年計画で訓練する。

ニ. 設備概要: 実際の訓練は全国各地の既存の設備施設を用いて実施する。しかし必要工具、材料等は C.M.D.F が供与する。

(2) 隊員の業務内容: C.M.D.F は建設関連のみに特化して訓練を行う。訓練

は9部門ある。このうち配管も管轄持つ。C.M.D.F の本部はマニラにあるが隊員が実際に仕事をするのは地方である。現在のところどこどこというように場所は明確になっていない。しかし既存の設備施設を利用するので W.M.Y.C (青少年職業訓練) のような全国に事務所・訓練所を持つ機関とのタイアップが考えられている。

隊員のキャリアパスは同職種内の職業訓練教官である。通常の隊員の業務は同職種の ① Training module の作成 ② 機器等の操作デモンストレーション ③ 訓練教官の補佐として働き ④ 訓練生(21才~45才まで)を直接指導する ⑤ 訓練教官に代わり教えた場合訓練終了後の評価を行うなどである。

1回の訓練期間は4ヶ月で1982年4~5月からスタートの予定である。訓練生の数は実際に開設される場所によって異なるが数十から数百になる。

技術: 工業プラント用大型パイプ配管また、ビルおよび個人住宅用上下水道配管などの技術が主たる内容

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: フィリピンに於いても工業分野での熟練労働者の供給不足は急務の事柄である。当国ではこれを達成するため各種職業訓練の充実に力を入れている。その一環として、特に建設関係でしかも青少年ではなく若年層を含めた成人の職業訓練を行おうとしているもので期待は大きい(ちなみに訓練生には生活補助金も支給される)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
学歴は同レベルだが、実務経験を有するに○が必須条件である。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和57年 / 月22日

470 配 管

調査者氏名 鈴木 優

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
エチオピア	(現地公用語) Sanitary engineer	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 配管	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Urban Development & Housing.

(日本語): 住宅省

ロ. 隊員勤務先名称: 本省勤務

日本語名称 (住宅省)

所在地: アディスアババ市内

主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

一般住宅、ビルディングの住宅供給公社的業務の企画。

ニ. 設備概要: 設計部門に加入は良。

(2) 隊員の業務内容:

一般住宅からビルディング関係にある都市計画の住宅区画の統一、給排水の設計、設計が主です。

大抵の本管工事(配水管等)は下記の様な区画の本管工事は考えられません。

特に、冷暖房工事の設計はありせん又、積算の必要もありません。

業務上の地位: エンジニア

カウ=910-1: 一名 (大学夜学土木専攻中)

機材: 必要機材携行のこと

オ3国人: ハンガリー人 2名 (建築、道路設計)

使用言語: 英語、アムハラ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現在当住宅省では Sanitary engineer と称する者は一人しかおらず、又、私のカウ=910-1 (研修員として申請中) も、現在勧奨中の故、当省における期待は、大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 1. 実務経験 3年以上が望ましい。 ○工業高校卒以上
- ② 平屋建から10階建ビルディング等での配管の設計の経験のある者 (給排水、通気、消火設備等)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

471 タイル施工

記入昭和 56年 9月 4日

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	Masonry タイル施工	(男) 1人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 57年 4月 派遣予定 57年 8月 受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Construction Manpower Development Foundation

(日本語): 建設人材開発協会 Foundation (本部はマニラ)

ロ. 隊員勤務先名称: Construction Manpower Development Foundation (日本語名称)

所在地: 未確定, 地方都市のうちどこか1か所 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 同 Foundation は工業省下の建設工業技術の下部組織としてつくられたばかりである。同 Foundation は建設(プロジェクト管理)関係の熟練労働者育成のため、約 25万人を全国各地で5ヶ年計画で訓練する。

ニ. 設備概要: 実際の訓練は全国各地の既存の設備施設を用いて実施する。しかし必要工具、材料等は C.M.D.F が提供する。

(2) 隊員の業務内容: C.M.D.F は建設関連のみに特化して訓練を行う。訓練

は9部門ある。このうちタイル施工も受け持つ。C.M.D.F の本部はマニラにあるが、隊員が実際に仕事をするのは、地方である。現存のどこどこというように場所は明確になっていない。しかし既存の設備施設を利用するので M.Y.C (青少年職業訓練) のような全国に事務所・訓練所を持つ構図でのタイプが考えられている。

隊員のキャリアパスは同職種別の職業訓練教室である。通常の隊員の業務は同職種別の ① Training module の作成 ② 技能者の操作デモンストラーション ③ 訓練教室の補佐として働き ④ 訓練生(21才〜45才まで)を直接指導する ⑤ 訓練教室に別添った場合訓練終了後の評価を行うなどである。

1回の訓練期間は4か月で1982年4〜5月からスタートの予定である。訓練生の数は実際に配属される場所によって異なるが数十から数百になる。

技術: レンガ, コンクリートブロック, タイル, あるいはコンクリートを用いた建築物の床, 壁等の工事施工を指導する。したがってコンクリートの調合・調整等に関する知識も必要である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: フィリピンに於いても工業分野での熟練労働者の供給不足は急務の事柄である。当国ではこれを達成するため各種職業訓練の充実にかを入れている。このような各種職業訓練の一つとして、特に建設関係でしかも青少年は必ずしも熟練者も含めた成人の職業訓練を行おうとしているもので期待は大きいものがある。(ちなみに訓練生には生活補助金も支給される)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴は同レベルだが、実務経験を有するに○が必須条件である。